

～ 今月の図書案内 ～

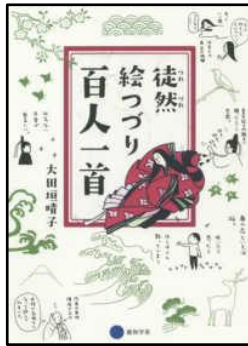
1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。2、3年生のみなさん進級おめでとうございます。

新年度が始まり忙しく過ごしているかもしれませんが、息抜きに図書館で本を借りて読書を楽しんでみませんか。

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間 8:35～16:45 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります)

★新着図書のおすすめ本



「徒然絵つづり百人一首」 太田垣 晴子

百人一首は藤原定家が編纂したといわれる。万葉から鎌倉時代までの沢山の歌から選ばれ地位や時代も多彩。かるた遊びや競技かるたとしても知られている。恋の歌が最も多く、季節や旅など多様。イラストと口語訳がとてもわかりやすいので、声を出して読んでみると、31文字に含まれる心情を感じます。

★図書館からのおすすめ本



「夜明けのすべて」 瀬尾 まいこ

月に一度のPMS（月経前症候群）でイライラが爆発してしまう美紗は、やる気のない転職してきた山添君に当たってしまう。山添君はパニック障害で、生きがいの気力も失っていた。互いに友情も恋も感じないが、おせっかい者同士で、自分の病気は治せなくても相手を助けることはできるのでは…と思うようになり、変化が訪れる。生きるのが少し楽になる、心温まる一冊。

『日本の伝統』の正体 藤井 青銅

日本の「伝統」と言われているものは、本当に昔からあったのか？ルーツを調べてみると、企業の宣伝のために作られた文化や、明治以降の歴史が浅いものも多くあることがわかります。なんとなくありがたがっていた「伝統」の意外な部分が見えてくる面白い本です。



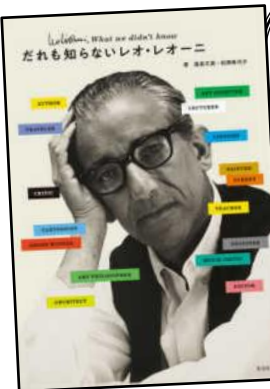
「金曜日の本屋さん」 名取 佐和子

「読みたい本が見つかる」と噂の駅ナカ書店<金曜日>で繰り広げられる、人と本の出会いや成長を描いた物語。それぞれ悩みを抱えている客が、本を通して個性的な店員に関わることで前向きに進めるようになる、ハートウォーミングストーリーです。



「だれも知らないレオ・レオーニ Leo Lionni, What we didn't know」 森泉 文美・松岡 希代子

アーティストとして生涯にわたって創作を続けたレオ・レオーニ。意外にも絵本制作の始まりは49歳。建築家、アートディレクター、作家でもあり、さまざまな顔を持った彼が追いつけた「アーティスト」の姿とは？ 彼の手がけた広告や表紙、絵や彫刻など、絵本作家以外の作品も紹介し、新しい発見ができる一冊。



「プリズン・ドクター」 岩井 圭也

神経内科の専門医を目指す史郎は、千歳刑務所で嫌々受刑者と向き合っていた。薬欲しさの詐病（病気を偽ること）を見抜くには気が抜けず、細かい判断をするには設備がなかった。そんな中での変死、病死に対応すべく医大の仲間に助けを求める。迷いながら受刑者と接している史郎の成長と、塙に密閉された中で起こる不可解な医療ミステリー。